

# News release

2026年4月13日  
PwC コンサルティング合同会社

## PwC コンサルティング、脳科学で生成 AI 活用の「質」を可視化し 適切な業務利用を支援するサービスの提供を開始 受動的な AI 利用を防ぎ、人と AI の「共進化」による創造性の向上を支援

PwC コンサルティング合同会社(東京都千代田区、代表執行役 CEO: 安井 正樹、以下「PwC コンサルティング」)は本日から、生成 AI の利用が人間の脳機能に与える影響を分析し、最適な生成 AI 活用環境を構築するコンサルティングサービスの提供を開始します。

本サービスは、スマートフォンやパソコンのカメラを通じた表情解析技術を用いて脳状態を推定し<sup>1</sup>、そのデータを基に、生成 AI に頼り過ぎることによる創造性や思考力の低下のリスクを回避しながら、人と AI が共進化(Co-evolution)する業務プロセスの実現を支援します。

### ■背景

生成 AI は業務効率を高める一方で、使い方によっては人が批判的思考や創造的プロセスを AI に依存し過ぎる「認知的オフロード」を招き、いわば思考停止に陥る懸念も指摘されています。

PwC コンサルティングは、京都大学経営管理大学院 特定准教授の國分 圭介氏との共同研究<sup>2</sup>から、以下の知見を得ました。

- **課題:** 生成 AI による情報収集・整理のみに終始する「受動的な利用」は、脳の実行機能を司る領域(CEN: セントラル・エグゼクティブ・ネットワーク)の活動を低下させ、創造性を損なうリスクがある。
- **可能性:** 一方で、生成 AI を対等なパートナーとして扱い、新たな知の創出を実感できている場合には、創造性を育む脳領域(DMN: デフォルト・モード・ネットワーク)が活性化し、脳の健全性が維持される可能性が示唆される。

PwC コンサルティングはこれらの知見を参考にして、生成 AI 導入による負の影響を抑制し、働く人の創造性の向上に貢献することを目指して、本サービスを開発しました。

### ■サービス概要

パナソニック ホールディングス株式会社と BHQ 株式会社が開発した、スマートフォンやパソコンで手軽に脳の状態を推定できる Web アプリ「クイック BHQ ドック」を活用し、本人も気づきづらい脳の癖(思考や行動のパターン)を可視化します。「クイック BHQ ドック」から得られる各種データと、PwC コンサルティングの脳科学や AI 領域の知見を組み合わせ、職場における生成 AI 活用を最適な環境に導くコンサルティングサービスを提供します。これにより、思考力や創造性の低下といった問題を解決し、人と AI が共に成長する業務プロセスの構築を支援します。

本サービスでは、下記の 3 段階アプローチで、各社の業務プロセスに沿った人と AI の共進化を支えます。

### 1.【アセスメント】生成 AI 活用の「質」と脳の状態を可視化

生成 AI 導入による効率化の裏で、人間が「思考停止」に陥っていないかを診断します。

- 業務整理：現在のプロセスにおける生成 AI 活用領域を特定
- 脳の状態測定：企画立案や情報収集時に脳が適切に働いているかを解析
- 課題抽出：本人も気付かないうちに「AI 任せ」になっているプロセスを特定

### 2.【最適化支援】脳科学に基づく業務フローの再設計

可視化されたデータと神経科学の知見に基づき、生成 AI との最適な「距離感」を設計します。

- AI 協調フローの策定：脳を活性化する生成 AI 利用のタイミングや手法を設計
- 対話（プロンプト）の最適化：思考を刺激し、より高付加価値なアウトプットを生むためのプロンプトエンジニアリングを指導
- マインドセット変革：生成 AI を「道具」としてだけでなく、自己の能力を拡張する「パートナー」として扱うためのスタンスを定義

### 3.【継続的改善】共進化を支えるモニタリング基盤

一度の改善で終わらず、生成 AI の進化と人の適応をデータで追いつけます。

- データプラットフォームの構築支援：蓄積された生成 AI 利用ログと脳活動データから傾向や変化を分析。ナレッジ化して業務フローの継続的な改善や定着につなげる
- 適応型アップデート：生成 AI の技術的アップデートや従業員の習熟度に合わせて、業務フローを継続的にブラッシュアップ

#### ■PwC コンサルティング Technology Laboratory 所長 三治 信一郎のコメント

「生成 AI は強力なツールですが、その利便性ゆえに人間の『考える力』が衰えてしまうリスクもはらんでいます。PwC コンサルティングと京都大学経営管理大学院 特定准教授の國分 圭介氏の共同研究では、生成 AI を用いた情報収集・整理において、脳の実行機能に関連する指標が有意に減少することが確認されました。一方で、利用者の創造的自己効力感が高い場合には、その減少が緩和されるという重要な知見も得られています。PwC コンサルティングは本サービスの提供を通じて、企業の皆様が生成 AI の生産性を享受しつつ、社員の創造性や知的能力をさらに拡張し、『AI と脳の融合による共進化』を実現できるよう支援してまいります」

#### ■関連情報

BHQ を活用した健康経営の高度化支援

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/technology-consulting/technology-laboratory/bhq.html>

\*1: BHQ 株式会社が提供する「クイック BHQ ドック」サービスのご利用が別途必要となります。

\*2:【研究論文の概要】

- タイトル：Associations between Generative AI Use and Facial-Expression-Derived Central Executive Network Indices: A Pilot Study
- 著者：Keisuke Kokubun, Yoshinori Yamakawa, Anna Yoshida, Shinichiro Sanji
- 掲載誌：Brain Sci. 2026, 16(1), 58

以上



---

**PwC コンサルティング合同会社について**[www.pwc.com/jp/consulting](http://www.pwc.com/jp/consulting)

PwC コンサルティング合同会社は、経営戦略の策定から実行まで総合的なコンサルティングサービスを提供しています。PwC グローバルネットワークと連携しながら、クライアントが直面する複雑で困難な経営課題の解決に取り組み、グローバル市場で競争力を高めることを支援します。

**PwC Japan グループについて**[www.pwc.com/jp](http://www.pwc.com/jp)

PwC Japan グループは、日本における PwC グローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社の総称です。各法人は独立した別法人として事業を行っています。

複雑化・多様化する企業の経営課題に対し、PwC Japan グループでは、監査およびブローダーアシュアランスサービス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、そして法務における卓越した専門性を結集し、それらを有機的に協働させる体制を整えています。また、公認会計士、税理士、弁護士、その他専門スタッフ約 13,500 人を擁するプロフェッショナル・サービス・ネットワークとして、クライアントニーズにより的確に対応したサービスの提供に努めています。

© 2026 PwC Consulting LLC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details.